

令和6年度 京橋朝海幼稚園外部評価報告書	
評価委員：松岡委員長、森田副委員長、金子委員、木暮委員 報告書作成者：木暮委員	
評価時期 令和7年2月	
1 重点目標の評価 重点目標1 自然環境の中で知的好奇心を育む について ・先生が丁寧に関わっていることで、子どもたちに学びと体験が得られるようにしてくれている。 重点目標2 人と関わる力を育む について ・幼児一人一人が集中してよく遊んでいる。日当たりもよく、のびのび過ごしている様子が分かる。 ・今の子どもたちは人と、どう接したらよいか分からない。今の時代に大切なことは、多様性に気付き、認めていくことだと思う。違うところがあっても、その人の個性と思って認めていく。 ・学校経営方針の想像力と創造力が大切だと思う。子どもと話していると、大人では考えつかないようなこともある。子どもの思いを汲み取ることで、楽しい毎日を過ごせると思う。 重点目標3 健康でたくましい体をつくるについて ・スポーツデーは、土曜日開催でよいと思った。また、簡素化することも考えていいと思う。 ・幼稚園の運動遊びの項目で、握力が低下しているという話があった。以前も話したと思うが、今はタオルを絞る経験が少ないと感じる。昔は学校の掃除の時間に雑巾がけをしていたが、今は経験としていないのであれば、日常的な動作の経験が、様々なところにつながると思うので大切にしてほしい。また、昔はボルダリングがないから木登りをしていた。チームに入らないと、遊び場も少なく、スポーツができない状況で、今後も体力的な面が心配に思うので、保育での活動や遊びを大事にしてほしい。 ・今の子どもたちは、食育で料理を作るなどいろいろな体験ができています。 2 今後の改善に向けた意見 ・公の学校教育は、特色はあっていいが、特別はなくていいと思う。イベントでなく、日常の教育を大切に考えてほしい。 ・保護者や子どもは、学校のゲストではない。意見を全て受け入れる必要があるかどうか、本来の教育の方向性を見失わないでほしい。 3 その他の意見 ・コロナ前から見て、学校が変化していると感じる。変化に対して嫌がる人もいるが、学校の雰囲気がよいと感じる。 ・どのようにしたら、子どもらしさを育めるような体験ができるか、PTAとして学校をサポートしていきたい。 ・11月にデフリンピックがある。パラリンピックとは、違いがある。そこを子どもたちも触れられる機会があるとよいと思う。例えば、日常的に車椅子を使う子が、みんなと一緒に鬼ごっこをしたいと言った時、どうしたらいいかみんなで考える機会を大切にできるような日々を送ってほしい。 ・街の歴史を知らない若い人が増えてきた。継承していけないのが、寂しいと思う。そういうことを伝えていける機会を作りたいと考える。中央区は企業も多いので、協力できることが多いのではないかなと思う。町会としても、協力していけることはしたい。 ・社会背景が昔と違いすぎる。子どもたちは、黙っていても大人の世界を見たり触れたりする。遊び方も変化してきている。仲間作り、人間関係の作り方も昔と変わってきているのではないかな。いいところ、だめなところはっきりさせないと、様々な事件に巻き込まれてしまうのではないかな。学校というより、社会が自由と責任、権利と義務を小さい頃から吹き込んでいくに尽きるのではないかな。義務と責任を子どもたちも容易ではないが、理解していく必要があると思う。 ・教員の働き方改革で、楽をしていると思われることもあるが、教員も人であり、生活をしている。それを理解した上で意見を言うようにしていきたい。	